

CONTENTS

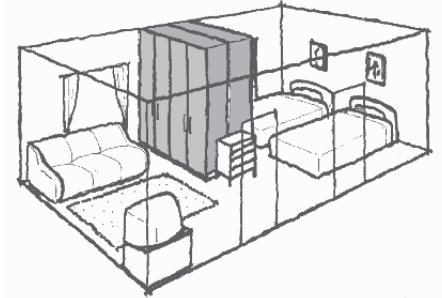
- 1 各部の名前と機能
- 2 納まり参考図
- 3 採用前・計画時のチェックポイント
 - ア)床の構造と床仕上げ材
 - イ)天井と造作材
 - ウ)配置計画
 - 照明 空調 スイッチボックス
 - 建具・窓・カーテン
- 4 注文時のチェックポイント
 - ア)注文時期
 - 配送時の荷姿と重量の目安
 - イ)収納内部パーツ
 - 標準セットに含まれる内部パーツ
 - カスタムパーツの種類
 - ウ)3枚扉ユニットの開き勝手
 - エ)配置場所の採寸
 - なぜ採寸するの?
 - 採寸方法
 - オ)プラン別ユニット注文寸法の確認

特徴 居室内を自由に移動させることができるワードローブ収納ユニットに間仕切壁としての機能を与えた商品です。

動かす ハンドルを回すと内蔵のキャスターが床面に接地し、軽い力で自在に収納ユニットを移動することができます。

準備 床へのキャスター傷防止のためユニットの移動は収納物をいったんユニットの外に全部出してから行います。
ユニット同士を連結している場合は連結金具を外して1台ずつ動かします。(事故防止のため2名以上での作業をお勧めします)

! 床面から天井までの通しユニットなので、設置した部屋からそのまま本体を出すことはできません。ユニットの解体と再施工工事が必要となりますので、施工業者様とご相談ください。



1 各部の名前と機能

扉**取手**

ねじ穴ピッチ：300mm
 固定ねじ：M4×35

FIXパネル

扉と同柄・同サイズの背板兼化粧パネル

天板

天板は保護シートを貼ってありますが化粧仕上げではありません

側板 仕切板

パーツ取付穴にはあらかじめインサートナット(M6×10)が埋め込まれています

台輪

ジャッキアップキャスターが内蔵された地板・台輪一体ユニット

ジャッキアップハンドル

地板をくりぬいて台輪内部に納めています
 (間取り変更時以外はキャップでフタをします)

サイドスペーサー

収納ユニット側面と壁とのスキマを納める軟質材。側板に止めた受け材に押し込み取り付けます

**天井スペーサー**

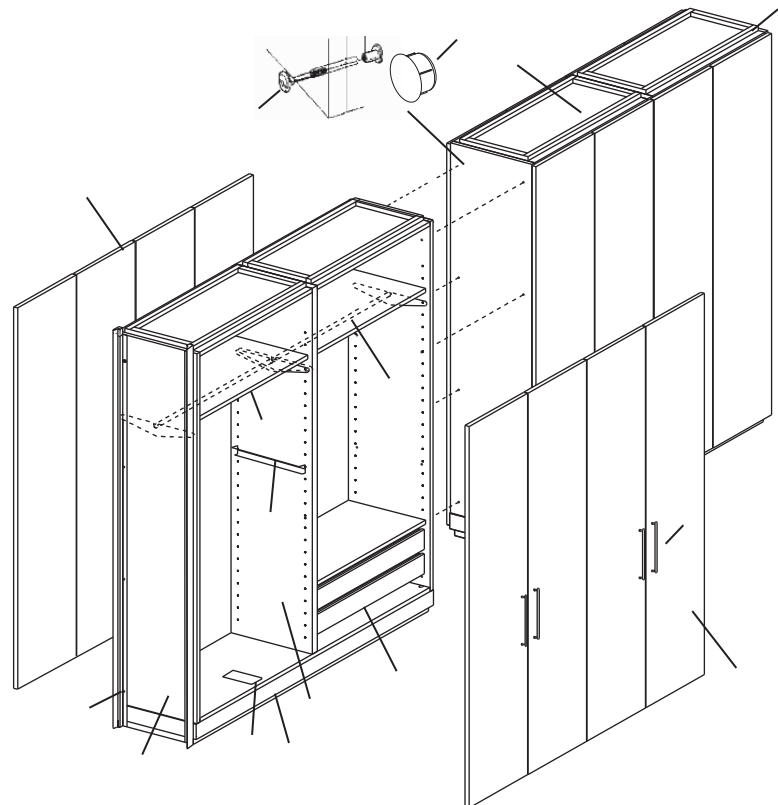
本体と天板とのスキマを埋める軟質材(天板にテープ止め)

本体連結金具

複数の収納ユニットを横に並べて間仕切として設置する際、スキマが気になる場合はこの金具でユニット同士を連結します

穴かくしキャップ

家具として単体で設置する際、室内に露出した収納ユニット側面の貫通孔をふさぎます

**<カスタムパーツ> 棚板**

耐荷重：30kg/枚
 取付高さ変更可能
 追加注文可能
 本体セットに1段ずつ標準装備

<カスタムパーツ> ハンガーパイプ

取付高さ変更可能
 追加注文可能
 本体セットに1段ずつ標準装備

<カスタムパーツ> 引き出し

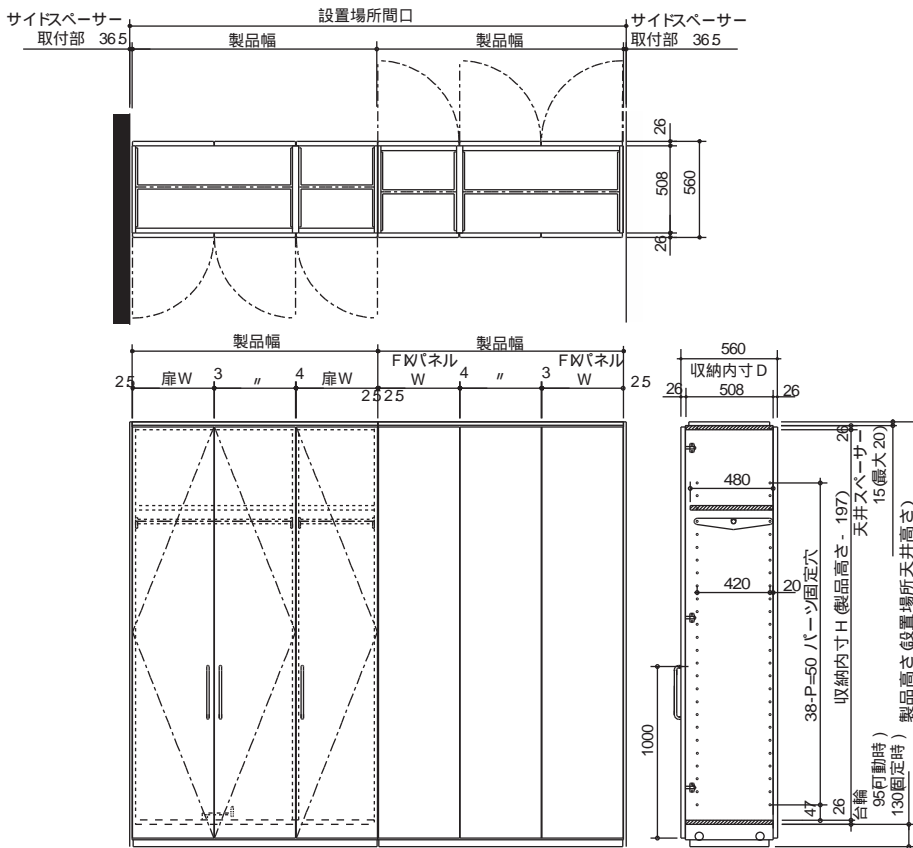
高さ(内寸)：105.5mm
 奥行き(内寸)：42.5mm
 取付高さ変更可能
 追加注文可能

最上段の上には別途カスタムパーツの棚板が必要となります

<カスタムパーツ> 小物ハンガーバー

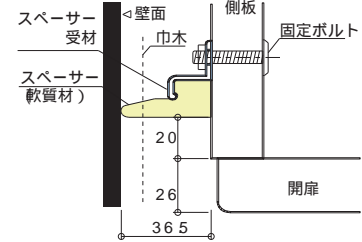
側板または仕切板に取付
 取付高さ変更可能
 追加注文可能

2 納まり参考図

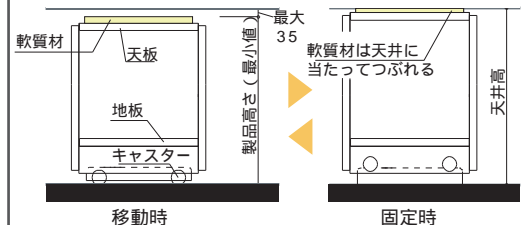


よくある質問 壁と天井の納まりについて

壁～壁間に間仕切として設置する場合、サイドスペーサーにより、左右壁面との隙間を調整します。サイドスペーサーは軟質材ですので、壁の寸法調整や巾木をある程度吸収することができます。



可動間仕切収納は製品高さを35mm昇降させることができますが、これは施工時や収納本体の移動時に必要なクリアランスです。天井高さの施工誤差を吸収できる範囲は、注文寸法±5mm程度ですので、それ以上の寸法誤差には対応できません。



3 採用前・計画時のチェックポイント

ア) 床の構造と床仕上げ材

耐荷重

床構造の耐荷重をご確認ください

本体重量の目安	本体移動時 最大約45kg/キャスター1個	
	本体設置時	
	寸法 (mm)	本体重量
	W1000×H2400	約100kg
	W1900×H2400	約160kg
	カスタムパーツなし	

床仕上げ材の強度

高耐傷性(耐凹み性)グレードのフローリング材をご採用ください。コルクフロー、クッションフロー、カーペット、畳などやわらかい床仕上げ材をご採用の場合は収納本体の移動が困難となりますのでご使用いただけません。直貼りフロアの場合、収納設置予定箇所に際根太を入れることをお勧めいたします。

床暖房

床暖房の施設された部屋での使用は特に床強度にご注意ください。<熱源一体型などご使用いただけない場合がございます。ご採用の床仕上げ材メーカー様にかならずご相談ください>

【ご注意】

本製品は木製品です。床暖房や冷暖房器具の影響で製品が変形し、使用上支障が起こる恐れがございます。特に、床暖房が施設された部屋でご使用の場合は、かならず以下の点をお守りください。

- ⚠ 設置場所・設置予定場所付近はプランクパネルにする(熱源を施設しない)。
- ⚠ 間取り変更時は床暖房のスイッチを切る

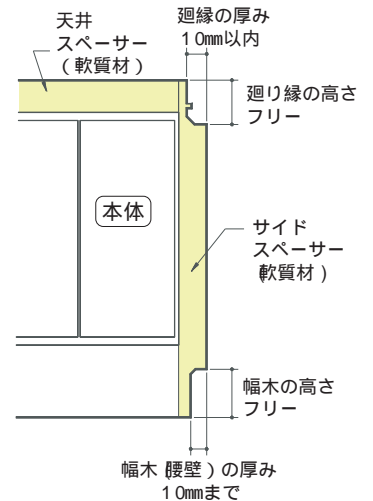
イ) 天井と造作材

収納ユニット側面と壁、天面と天井とのスキマはサイドスペーサー・天井スペーサーで隙間なく納めることができます

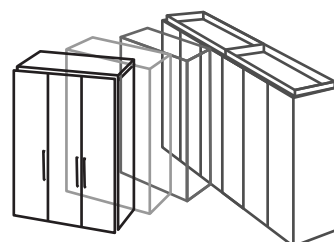
軟質材なので、幅木・廻縁等造作材に沿って凹みますが、見付・見込(壁面からの出)寸法が大きい場合納まらないことがあります。

本体設置予定箇所の本体と接する壁面を廻る造作材の寸法をご確認ください

標準対応可能寸法	
幅木・腰壁 見切り材	厚み: 10mm以下 高さ: フリー
廻縁	厚み: 10mm以下 高さ: フリー



形状により、厚み・幅が対応可能範囲より大きくても隙間なく納まる場合がございます。詳しくはお問い合わせください。



ウ 配置計画

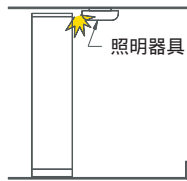
可動間仕切収納は室内を自由に動かすことができます。間取り検討の際、以下の点にご配慮ください。

照明

本体設置予定箇所に照明器具を配置しないでください。

<移動時の事故防止のため、天井埋め込みタイプの照明器具をお奨めします>

ハロゲンランプの使用は避けてください。
<移動時に照明と収納が接触した場合火災が発生する恐れがあります>



空調

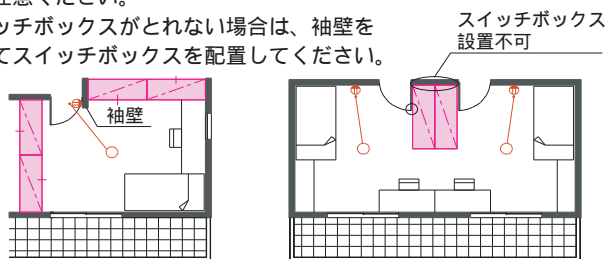
本体設置予定箇所とエアコンや換気口の配置が重ならないようご注意ください。

本体に直接エアコンから吹き出す冷風や温風が当たらないように、本体及びエアコンの配置位置を設定してください。
(本体の変形や故障の原因となります)

スイッチボックス

照明やコンセントのスイッチボックスと本体配置位置が重ならないようご注意ください。

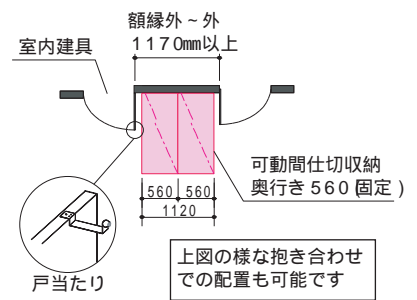
スイッチボックスがとれない場合は、袖壁を出してスイッチボックスを配置してください。



建具・窓・カーテン

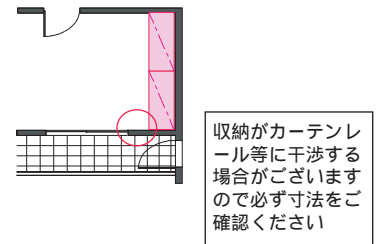
建具の配置位置及び開き勝手を計画する際、本体の配置予定箇所をご確認ください。

開いた建具が収納本体と当たる場合は建具に戸当たりを取り付けてください。
(建具及び本体の傷や破損の原因となります)



上図の様な抱き合わせでの配置も可能です

窓と本体配置位置が近い場合、カーテンボックスやカーテンレールと干渉して収納扉が全開にならない場合がありますのでご注意ください



4 注文時のチェックポイント

ア) 注文時期

配送時の荷姿と重量の目安

商品は床から天井までの箱体を現場で組み立てるノックダウン方式です。

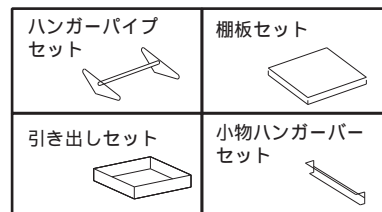
梱包外寸及び重量の目安は下表の通りとなりますので、現場への部材搬入時期や搬入方法にご配慮ください。

(配送は軒先渡しとなります)

梱包名	入梱数 (1梱包)	寸法の目安 (mm)	重量の目安 (1梱包)
扉セット	2~3枚	L : 2400~2600	20~30kg
FKパネルセット		W : 最大500	
側板・仕切板セット		D : 70~100	
天板・棚板セット	2~4枚	1000x550x150	10~15kg
台輪セット	1台	1000x550x150	25kg
		1950x550x150	35kg
スパーサーセット	1台分	95x2550(紙管)	2kg

カスタムパーツの種類

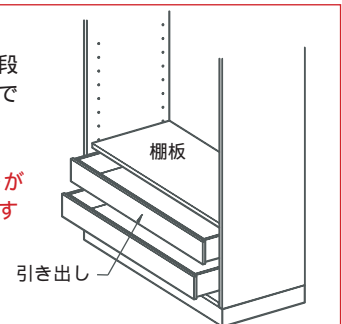
可動間仕切収納対応のカスタムパーツは以下の4種類です。



【ご注意】

引き出しセットは、引き出し1段と引き出しレール2本のセットです。

⚠ 最上段の上には棚板セットが1セット別途必要となります



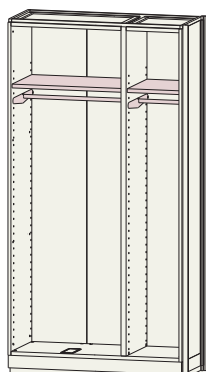
イ) 収納内部パーツ

本体標準セットに含まれる内部パーツ

内部パーツはカスタムパーツの中から必要に応じて追加することができます。追加注文時期は、本体セットと同時に、入居後何年か経過した後でも、本体にぴったりの寸法で製作しお届けいたします。

棚板
ハンガーパイプ

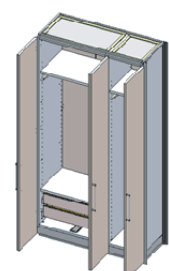
各扉を開くごとに1段ずつ含まれています



ウ) 3枚扉ユニットの開き勝手

3枚扉ユニット MP1-10/12 の仕切板取付位置は、開き扉を正面から見て右側のみの対応となります。

左：観音開き
右：右吊元片開き扉



(エ) 配置場所の採寸

なぜ採寸するの？

セフィット『可動間仕切収納』はおお客様の住まいにぴったり納まるよう、天井の高さ、壁内寸法に合わせて1mm単位で1台1台製造する完全受注生産です。

間仕切壁として隙間なく納めるため、ご注文の際正確に測定した設置場所の天井高さ寸法及び壁内寸法 (もしくはご希望の製品幅寸法) をお知らせください。

高さ寸法 (H)

『設置場所高さ寸法 (床面 (F L) - 天井面 (C L))』を採寸し、そのまま注文寸法としてご記入ください。

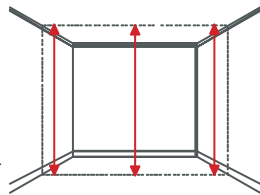
幅寸法 (W)

注文寸法は各ユニットの製作寸法となります。設置場所間口寸法採寸後、プラン毎の注文寸法計算式にしたがって計算を行ってください。

採寸方法

設置場所高さ寸法の採寸

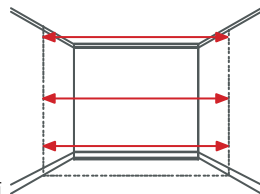
床面 (F L) - 天井面 (C L) を設置場所両端の壁際と中央付近の3箇所を測り、いちばん大きな寸法をご記入ください。



Point 下げ振り等を使用し、鉛直寸法を測定します。

間口寸法の採寸

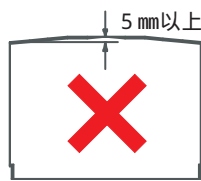
設置場所天井付近と中央と床付近の3箇所を測り、いちばん大きな寸法をご記入ください。



Point 廻縁、幅木、腰壁上は避け、「壁面～壁面」「壁面～ユニット側面」など、プランに応じた必要箇所の水平寸法を測定します。

【ご注意】

各測定値の差が5mm以上ある場合、製品の特性上、天井と本体との間に一部スキマがあく等、設置した際の納まりに問題が起こる恐れがあります。



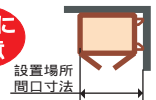
ユニット注文寸法 製品幅寸法 計算式

可動家具として単品で使用する	
側面を壁に寄せて設置する	 $\text{製品幅寸法} = (\text{設置場所間口寸法}) - 36.5$
側面を壁に寄せずに設置する 配置変更後も壁面に寄せて設置する予定がない場合	 $\text{製品幅寸法} = (\text{設置場所間口寸法})$
ワンルームを間仕切る	
完全間仕切として使用する	 $\text{製品幅寸法} = (\text{設置場所間口寸法}) - 7.3 \times \text{ユニット数}$
半間仕切として部分的に仕切る	 $\text{製品幅寸法} = (\text{設置場所間口寸法}) - 36.5 \times \text{ユニット数}$

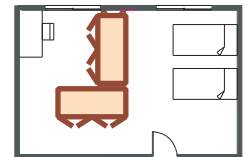
【ご注意】

可動家具として1台のユニットを配置してワンルームを部分的に間仕切することも可能ですが、移動の際、ユニットを90°回転させて配置変更するためには最小200mm程度の通路幅を必要としますのでご注意ください。

通路に注意



複数のユニットをL型に配置し、寝室の一角に書斎スペースを作るなどの設置方法も可能です。ホームページまたはフリーダイヤルでプランニングのご相談を承ります。



(オ) プラン別ユニット注文寸法 製品幅寸法 の確認

収納ユニットの側面を壁にぴったり寄せて設置する計画がある場合とない場合とで、ユニット注文寸法の計算方法が異なります。

収納ユニットの側面を壁にぴったり寄せて設置する場合

壁面とユニット側面との間にクリアランスが片側36.5mmずつ必要です。設置場所間口寸法からクリアランス分を引いて製品幅寸法を計算します。

クリアランスにサイドスペーサーを取り付けます

収納ユニットの側面を壁に寄せずに設置する場合

設置場所間口寸法をそのままユニット数で割った寸法が製品幅寸法注文寸法になります。

お電話でのお問い合わせはこちらまでご連絡ください

アクセス株式会社

☎ 0120-348-225 9:00~18:00 (休) 土・日・祭

〒550-0015

大阪府大阪市西区南堀江2丁目13番26号

インターネット セフィット | Web Site

追加カスタムパーツ 消耗品のご注文受付、商品に関するご相談の受付、最新の商品情報発信を行っています。

http://www.ce-fit.com